



平成 16年 11月 1日

会社名 株式会社ヤマダ電機
代表者名 取締役社長 山田 昇
(コード番号 9831 東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員
経営企画室長 茂木 守
(TEL .027 - 233 - 5842)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 6 日の決算発表時に公表いたしました平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 17 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(単位 :百万円・%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 16 年 5 月 6 日発表)	501,225	15,800	7,754
今回修正予想 (B)	509,700	17,800	10,100
増減額 (B - A)	8,475	2,000	2,346
増減率	1.6	12.6	30.2
前期実績 (平成 15 年 9 月期)	441,788	12,381	7,504

2 . 平成 17 年 3 月期中間個別業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(単位 :百万円・%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 16 年 5 月 6 日発表)	487,200	11,893	5,600
今回修正予想 (B)	493,000	13,300	6,200
増減額 (B - A)	5,800	1,407	600
増減率	1.1	11.8	10.7
前期実績 (平成 15 年 9 月期)	434,674	10,608	5,318

3. 修正のおもな理由

売上高は、アテネオリンピックの追い風もあり大型薄型テレビ、DVDレコーダーなどが好調に推移しました。また、7月の猛暑でエアコンなどの季節商品も好調に推移しました。利益面では、現金値引きとポイント還元制度の併用に販売戦略を変更したことによるポイント費用の削減、加えて各種経費の削減に努めた結果、販売管理費が当初見込みを大幅に下回り増益になる見込みであります。

なお、通期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の業績予想につきましては、平成16年11月9日に予定しております中間決算発表時に公表する予定であります。

(注) 今回の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上